

目 次

看護学研究科

<看護学専攻M>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	8
4. 既設大学等の状況	9
5. 教員組織の状況	10
6. 留意事項等に対する履行状況等	15
7. その他全般的事項	17

5 教員組織の状況

<看護学研究科 看護学専攻>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	筒井 裕子	平成27年4月	生活支援看護学特論Ⅰ 生活支援看護学特論Ⅱ 生活支援看護学特論演習 特別研究						
専	教授	小山 敦代	平成27年4月	看護教育学特論Ⅰ 看護教育学特論Ⅱ 看護教育学特論演習 特別研究						
専	教授	城ヶ端 初子	平成27年4月	看護倫理 看護理論 看護教育学特論Ⅰ 看護教育学特論Ⅱ 看護教育学特論演習 特別研究						
専	教授	竹村 節子	平成28年4月	生活支援看護学特論Ⅰ 生活支援看護学特論Ⅱ 生活支援看護学特論演習 特別研究						
専	教授	太田 節子	平成27年4月	看護ケア開発特論Ⅰ 看護ケア開発特論Ⅱ 看護ケア開発特論演習 特別研究						
専	教授	森下 妙子	平成27年4月	看護ケア開発特論演習 特別研究						
専	教授	上野 範子	平成27年4月	看護ケア開発特論演習 特別研究						
専	教授	流郷 千幸	平成27年4月	研究方法論Ⅰ 研究方法論Ⅱ 発達支援看護学特論Ⅰ 発達支援看護学特論Ⅱ 発達支援看護学特論演習 特別研究						
専	教授	稲垣 絹代	平成27年4月	地域・精神保健看護学特論Ⅰ 地域・精神保健看護学特論Ⅱ 地域・精神保健看護学特論演習 特別研究						
専	教授	原田 小夜	平成27年4月	災害看護学 家族看護学 地域・精神保健看護学特論Ⅰ 地域・精神保健看護学特論Ⅱ 地域・精神保健看護学特論演習 特別研究						
専	教授	石田 英實	平成27年4月	人類科学 機能形態学 研究方法論Ⅱ						
専	准教授	磯邊 厚子	平成27年4月	国際看護学 原書講読Ⅰ 原書講読Ⅱ 発達支援看護学特論演習						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	間 文彦	平成27年4月	地域・精神保健看護学特論Ⅱ 地域・精神保健看護学特論演習 特別研究						
専	准教授	木村 知子	平成27年4月	リーダーシップ論 発達支援看護学特論演習※ 特別研究						
専	准教授	安田 千寿	平成27年4月	生活支援看護学特論演習※ 特別研究						
			平成27年4月	特別研究	専		長谷部ゆかり	平成27年10月	特別研究	平成27年7月 AC教員審査済
専	講師	大籠広恵	平成27年4月	地域・精神保健看護学特論演習						
兼担	講師	高橋 啓子	平成27年10月	発達心理学						
兼担	講師	竹村 節子	平成27年4月	生活支援看護学特論Ⅰ 生活支援看護学特論Ⅱ 生活支援看護学特論演習						
兼任	講師	餅田 敬司	平成28年4月	看護管理 看護政策論						
兼任	講師	井下 照代(68)	平成27年4月	リーダーシップ論 看護管理 災害看護学						
兼任	講師	甘佐 京子	平成27年4月	コンサルテーション論						
兼任	講師	泊 祐子	平成27年4月	研究方法論Ⅰ 研究方法論Ⅱ 家族看護学						
兼任	講師	多賀谷 昭	平成27年10月	研究方法論Ⅱ						
兼任	講師	角野 文彦	平成28年4月	国際看護学						

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
11	4	1	0	16	11	5	1	0	17	11	5	1	0	17
(10)	(4)	(1)	(0)	(15)						[0]	[1]	[0]	[0]	
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
8	5	3			9	5	3			9	5	3		
(7)	(5)	(3)						[1]	[0]	[0]				

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	8 名	8 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。